

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	47
学校名	富山県立にいかわ総合支援学校

学校の現状と課題	本校は、新川地区唯一の特別支援学校で、知的障害のある児童生徒と肢体不自由のある児童生徒が学んでいる。児童生徒の実態に応じたきめ細やかな支援を心掛け、一人一人の可能性を最大限に伸ばすとともに、自立と社会参加のできる児童生徒の育成を目指している。児童生徒の障害が多様化してきており、個々の実態を的確に捉えた適切な支援を充実させていく必要がある。	
テーマ(特色)	障害の特性に応じた自立活動の支援の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	校内研修の充実を図るとともに、外部機関の専門家からの助言を受け、専門的な知識や指導技能の向上に努める。自立活動の時間の指導の中で使用する教材の開発を行った。	
実施内容 (具体的に記入する)	①自立活動の時間の指導で使用する教材の購入及び開発 生徒のコミュニケーション能力の向上を目指しての代替コミュニケーション機器を活用・・・クイットーカー購入 身体の動きの向上をねらった自作教材の開発 ②専門家を招聘しての学習会 ヴィストカレッジ環水公園前 作業療法士 渡邊 純子 氏による講演 内 容 「体や手先の動きに課題のある児童生徒への対応について」「自閉症の児童生徒の体のつくり方や支援の在り方」	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	自立活動の目標である「個々の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するため」を目指し、①コミュニケーション能力の向上を目指した代替コミュニケーション機器の活用、身体の動きの向上をねらった自作教材2点の開発を行った。②ヴィストカレッジ環水公園前 作業療法士 渡邊 純子 氏による講演「体や手先の動きに課題のある児童生徒への対応について」を10月、11月に本校の全教職員で聴講した。教員の指導の困り感からの助言も含め、今後の自立活動の時間の指導に生かすことのできる学習会となった。	
対象者(学年・人数など)	全校児童生徒(136名)教職員80名	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	①
	8月	①
	9月	
	10月	②
	11月	②
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	